



つ北小だより

No. 5

つつじが丘北小学校

平成27年8月27日
校長 上田 祥市

「生きるエネルギーを感じる」

猛烈な風と雨の台風15号とそれに続く台風16号が猛暑の夏を吹き飛ばしたかのように、一気に涼しくなってきました。これから季節は夏から実りの秋へと向かいます。

さて、夏休みの思い出を心のポケットにいっぱい詰め込んで、にぎやかな子供たちの声が、学校に戻ってきました。今日からつつじが丘北小学校最後の二学期が始まります。

今年の夏は、様々な節目の夏でした。戦後70年を迎え、満州事変から広島・長崎の原爆投下、終戦に至るまでの歴史を振り返り、戦後70年の足跡やこれからのこの国の在り方について深く思考する時間がありました。

一方、全国高等学校野球選手権大会も100年の節目の年でありました。予選も含めて、高校球児の熱い戦いが繰り広げられ、数々のドラマが生まれました。西東京代表として甲子園出場した早稲田実業高校のキャプテン、キャッチャーで4番打者の加藤雅樹くんは、本校の卒業生です。昭島リトルイーグルスで野球を始めた加藤くんは、その後瑞雲中に進学し、シニアチームで実力を伸ばして、早実で甲子園の夢を果たしました。3番清宮くんが大きく注目された中、キャッチャーとしてピッチャーを明るく励ましながらリードする姿や、清宮くんとのアベックホームラン等チャンスに強い見事なバッティングは、みんなの心に焼き付いています。そして何よりもキャプテンとしてチームを明るくさわやかにまとめていることが、加藤くんの言葉や態度から感じられ、とても頼もしく嬉しく思いました。本校の卒業生の活躍は、子供たちにとっても地域の方々にとっても大きな誇りとなりました。

校長 上田 祥市

白球を追う球児たちの真剣な顔やみんなでお互いに励まし合う笑顔は、キラキラ輝いて見えます。スポーツに限らず、どんなことでも何かに夢中になって、真剣に取り組んでいる顔、心を通わす明るい笑顔は、かっこよく感じます。それは、きっとその姿から生きるエネルギーを感じ、自分も元気をもらうからだと思います。

子供たちが授業や行事や遊びなどで夢中になることを見つけ、真剣に取り組む姿がたくさん見られる二学期にしていきたいと思います。



(校庭の様子)

最後に統合に向けた工事のことです。増築工事に加え、夏休みに入ってから、まず、東側のトイレの工事が始まりました。使用できるトイレが二学期からは西側のトイレのみとなり、不便をかけることとなります。また、校庭では学童クラブ建設工事が始まります。東側に仮囲いを作るため、校庭の約5分の2ほどが使えなくなります。どちらの工事も今年度いっぱいかかります。工事中の安全指導は十分行っています。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。春には、増築工事と東トイレ工事が終え、新しい学童クラブと共に、つつじが丘小学校が新たな姿でスタートします。